

県立図書館通信

夏休み号
2015.7.2発行



もうすぐ夏休み、みなさん何をして過ごしますか？

長い夏休みは、じっくり読書ができる絶好の機会です。普段は読まないジャンルの本や、長編作品を読んでみるのもいいですね！

県立図書館に最近入った本から、 高校生におすすめの本を紹介します！



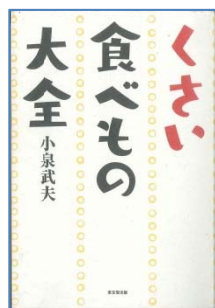
「好きになる栄養学」

麻見 直美、塚原 典子/著
講談社/発行
資料コード 115480832

献立の組み立て方から食品の成分、ライフステージ別食生活、スポーツ栄養などの項目を図やイラストを使って分かりやすく解説。

栄養学ってなんだろう？という基本的なところから学ぶことができます。

栄養に関する知識が高まり、調べ物にも役立つ一冊です。



「くさい食べもの大全」

小泉 武夫/著
東京堂出版/発行
資料コード 115484115

奇食珍食を食べつくしてきた小泉教授が世界中で口にした食べものの中から、くさいものをよりすぐって紹介。失神するほどくさい食べものが世の中にはあるみたいですよ！そんな数々の食べものを食したときの壮絶な体験エピソードには驚かされます。

食文化・民族文化にも触れられる、面白くてためになる一冊です。



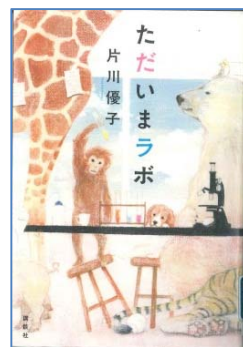
「翔べ！ 私たちのコンクール」

オザワ部長/著
学研パブリッシング/発行
資料コード 115489718

吹奏楽の強豪校として知られる東海大付属高輪台高校吹奏楽部に著者が完全密着取材したドキュメント。

先生や部員同士、時にはぶつかり合いながらも全国大会で金賞受賞を目指して練習を重ね、成長していく様子が、部員それぞれの思いを丁寧に追いつながりながら描かれています。

部活や勉強で大変なとき、同世代のがんばっている姿を見てきっと励まされます。



「ただいまラボ」

片川 優子/著
講談社/発行
資料コード 115486383

大学院生が描いたリアルな理系の青春小説。シカの耳をひたすら刻んだり、バナにえさをあげたり、一見地味な獣医学科の研究室。しかし、そこには動物の生命と向き合う学生たちの、笑いあり涙ありの毎日が繰り広げられています。

獣医学科志望の方、理系の大学生活が知りたい方、動物が好きな方、おすすめです。

読んでみよう

今月のテーマ 戦争に関する本

*県立図書館にはおすすめの資料がたくさんあります！毎月テーマを決めて紹介していきます。

私たちにとって平和な毎日は当たり前のように思われますが、それは先人が築き上げてくれた賜物です。8月15日は終戦の日、戦争に関する本を読み、戦没者を追悼し平和を祈念するよい機会ですね。

1冊でも戦争に関する本を手にとってみてください！



「にんげんをかえせ」

峠 三吉/著
新日本出版社/発行
資料コード 112033881

わたしをかえせ わたしにつながる
にんげんをかえせ
にんげんの にんげんのよのあるかぎり
くすねぬへいわを
へいわをかえせ (序より抜粋)
28歳で被爆した著者が、原爆の惨状、人々の死の恐怖と苦痛、そして平和への思いを綴った44編の詩。強い怒りが静かにうたわれています。



「蟻の兵隊」

池谷 薫/著
新潮社/発
資料コード 114266083

1945年、敗戦した日本は無条件降伏しました。しかし、戦争が終わっても残留兵として中国山西省に残り、戦い続けた日本兵2600人がいました。その期間は3年半以上にものぼり、帰国後も「中共帰りの」のレッテルを張られ、苦労を重ねることになります。

残留は軍の命令によるものだったのか、自発的なものだったのか。その真相をあなたはどうかとらえますか？

MAMETISIKI

図書館をつかいこなそう

夏休み、図書館へ行こう！

暑い夏、勉強にも身が入らない…という方も多いのではないのでしょうか？
そんなときは、県立図書館をご利用ください！県立図書館には、こんないいところがあります。

- ・開館時間：朝9時～夜8時
- ・休館日：月に1回のみ（毎月最後の水曜日）
- ・閲覧室にはペットボトルなど、ふたつきの飲み物の持ち込みOK。バッグの持ち込みもOKです。
※郷土資料室、資料調査室は除く
- ・1階では持参したお弁当などが食べられます。

涼しく静かな環境で読書や調べ物ができますよ。
ぜひ活用してください。

■編集■ 佐賀県立図書館 企画課 図書館ネットワーク担当 (0952-24-2900)

◎この通信はHPにも掲載しています。蔵書検索も

できます。☞<http://www.tosyo-saga.jp/kentosyo/>

お問い合わせはこちらまで。

